



日本共産党文京区議会議員  
**まんぢち幹夫** 通信 **週刊**  
 2012年4月27日号 No.240

# 'みなさんをいつもまんぢに、

区議団控室：5803-1317 (直通)

萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7

・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

再生可能な自然エネルギーの活用を实践、高知県梶原町

## 光、風、水を生かした山間地の挑戦に学んで 東京での太陽光発電のヒントに―町長とも対話

先週号で紹介した「自然エネルギーによる電力発電100%めざす」高知県梶原町の視察(文京革新懇話会主催)続報です。

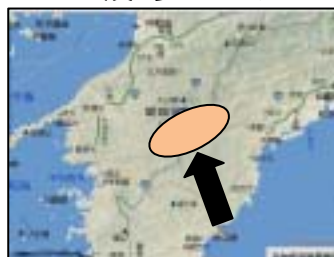
四国山地の真ん中、愛媛県境の90%が森林の町、坂本竜馬が伊予へ山越えした「脱藩の道」がある事でも有名な町です。まず町の中心にあるたいへん特徴的建造物の役場を訪問(写真左上=ロビーです)。その後、町長さんとの一時間にわたって懇談ができました。前町長からエネルギーの自給化を追求しており、矢野町長はその政策を画像を使って40分(相当な自信があるのでしょうか)一気に説明しました。そして



視察団に説明する  
 矢野梶原町長



質問にも答えてくれました。「まちづくり計画をコンサルタンに依頼せず、町民参加で作成し実践」「(農林業を崩壊させる)TPPには反対です」。また、都心部での太陽光の活用についても「公共施設への太陽光パネルの大規模な設置は、特に問題ないはず」など答え、財政支援があれば東京でも普及できることが見えてきました。その後、カルスト台地の風力発電所のほか、小水力発電、木質ペレット工場など、町の取り組みを見学しました。



## 「春のつどい」多くのみなさんのご参加に、感謝申し上げます

「楽しい集まりでした」「みんなの力で、消費税増税を食い止めなくては」...参加された40人余の方々から感想をいただきました。ありがとうございました。

区政の焦点を私から、桑名文彦衆院東京二区予定候補から国政の動きや町の声が報告されました。「あるクリーニング店では店主夫妻の給料は出せない、消費税は蓄えを崩して払わざるを得ない」景気回復、仕事確保が最重要課題、みなさんの共通認識になったと思います。

6月8日(金)夜、区民センターで演説会を予定。追ってお知らせします。



- 18日 午前、党東京都委員会学習会「孤立死」「見守り」が大きな課題に。各地のとりくみが紹介されました。
- 19日 「春のつどい」の打ち合わせ会。相談会が伸びて時間に遅れましたがみなさんで着々と話は進んでいました。「元気でる集まりにしよう」と。
- 20日 朝「しんぶん赤旗」日刊紙の配達。夜明けの時、道路の街灯の消える時間(センサー付き)が少し早いのか、気になります。確認してみます。
- 22日 「春のつどい」当日。いろいろな方から、いろいろな飲み物の差し入れがあり、満足でした。磯川会館の階段は、やはり急すぎます。バリアフリーで椅子席の会議室が、必要です。
- 24日 議運。次の議会日程が決定。

まんぢち日誌